

When an earthquake hits

Japan is one of the countries that have a lot of earthquakes. It is extremely important for foreigners living in Japan to know what to do right after an earthquake strikes.

Points on the steps to take after an earthquake strikes

- 1 First, protect yourself by taking shelter underneath a strong table or other items.



- 2 After the shaking stops, make sure your family is safe and turn off all sources of fire in the house.

(Turn off sources of fire in the kitchen and in the stove immediately.)



- 3 Open a door or a window to secure an escape route.

Cautions when evacuating

- ★ Do not rush outside!
- ★ Stay away from furniture that may fall, and when you move next, watch out for broken glass!
- ★ If a fire starts, put it out right away!
- ★ Talk to your neighbors and cooperate to help each other.
- ★ Listen to correct information.



Daily preparation, emergency supplies

Items to prevent falling of furniture

- 1 Strong earthquake strut
Holds furniture firmly without damaging it.
Does not require nails or screws



Strong earthquake strut

- 2 Gum lock
Holds the tops of furniture and appliances.



Gum lock

- 3 Earthquake-proof mat
Prevents televisions, computers, and other objects from falling over.
Can be washed and reused as often as required. Easy for women to attach and remove.



Earthquake-proof mat

Prepare an emergency bag.

What is an "emergency bag"?

An emergency bag is "a bag to carry things you need when you evacuate after a major disaster".

This includes the minimum necessary items for survival and life saving.

Emergency supplies for earthquakes can be purchased online, at major department stores or at home centers.



地震が起きたら

日本は世界でも地震の多い国です。日本で暮らしている外国人にとっても、地震発生直後にどのように行動すべきかを知っておくことが非常に大切です。

地震発生時に取るべき行動順序とポイント

- 1 まず、頑丈なテーブルの下に入るなど自分の身を守りましょう。
- 2 揺れがおさまったら家族の安全を確認し、家庭内のすべての火を消しましょう。
(台所、ストーブなどの火をすぐ消しましょう。)

- 3 扉や窓を開けて脱出口を確保!

避難する時の注意点

- ★ 慌てて屋外に飛び出さない!
- ★ 倒れてくるかもしれない家具から離れること、次に移動するときはガラスの破片に注意しましょう!
- ★ 火が出たらすぐ消火!
- ★ 隣近所と声をかけあって、協力し合って助け合いましょう。
- ★ 正しい情報を聞きましょう。

日頃の備え …… 防災グッズ

家具類の転倒・落下防止アイテム

- 1 強力地震ボール
家具を傷付けずにガッチリ固定します。ねじ・釘不要です。
- 2 ガムロック
家具・家電の上部を固定します。
- 3 耐震マット
テレビ・パソコン・置物などの転倒防止。
洗って何度でも使えます。女性でも取り付け・取り外しが簡単です。

非常持ち出し袋を準備しましょう。

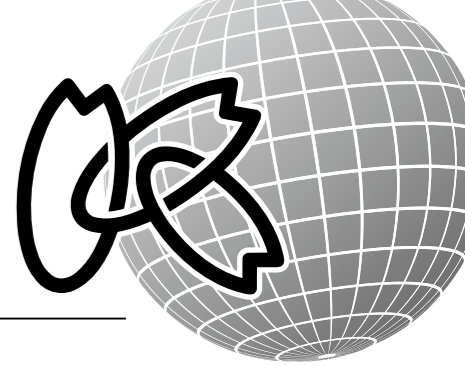
「非常持ち出し袋」とは何でしょう?

「大きな災害が起きた時、避難する場合に持っていく物を入れておく袋!」。

命を助ける、サバイバルグッズ的な、必要最小限の避難グッズです。

地震に関する防災グッズは大型量販店とホームセンター及びインターネットで購入することが出来ます。

Global Thinking



No. 41 2011年9月

編集・発行: 北区役所総務課総務係 (国際)

〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 電話: 03-3908-9308 ファックス: 03-3905-3423

東日本大震災について

1 発生状況について

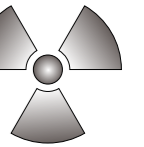
平成23年3月11日午後2時46分、牡鹿半島沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生しました。宮城県では震度7、東京都心でも震度5強を観測しています。震源地付近の沿岸では高さ10mを超える津波が押し寄せ、町を破壊しました。震災から半年近くが経過しようとしている今なお、多くの方が仮設住宅等での不自由な生活が続いています。

被災地では、日本全国はもとより世界各国から義援金や支援物資が届けられ、多くのボランティアが現地に入り活動しているほか、被災された方々も復興に向けて頑張っています。

2 福島第一原発による影響について

この地震で大きな被害を受けた施設のひとつに、福島第一原子力発電所(以下福島第一原発)があります。津波と地震によって、全施設が停電し原子炉を冷却できなくなりました。その結果、高濃度の放射性物質を含む高温の汚染水が原子炉内に溜まり、水素爆発を起こし建屋が吹き飛ばすなど大きな事故が起こりました。

②放射線(放射性ヨウ素を含む)の放出
福島第一原発の建屋が崩壊したことにより、空气中に放射線が放出しました。原発から半径20km圏内では警戒区域に指定されたため区域に住む住民の方々は、避難所や仮設住宅で生活しています。



①汚染水の流出

原子炉内に溜まった汚染水が、地震の揺れによって管に穴が開いたことにより、放射性ヨウ素を含む汚染水が一時海へ流れました。

③電力不足について

日本の電力は、3割近くを原子力で賄っていたため、福島第一原発の停止を契機として、定期点検で停止中の原発の再稼働が簡単にできなくなっているため、電力供給にも大きな支障をきたしています。この夏は日本全国で節電に取り組みました。



破壊された町(大槌町)(平成23年5月23日撮影)

● 北区役所の外国人相談(予約先) ☎ 3908-1101 ※相談は中国語: 毎週火曜・木曜(午後1~4時) 英語: 第2・第4火曜(午後1~4時) ※場所: 北区役所第1庁舎3階2番窓口				
● ボランティアグループによる日本語教室				
場所(会費)	中央公園文化センター(1回 100円)			赤羽文化センター(月4回 3000円)
曜日/時間	火曜 / 19:00~21:00	水曜・金曜 / 10:00~12:00	土曜 / 14:00~17:00	水曜・金曜 / 9:30~11:30
連絡先	090-2669-6512(河田)	03-3828-9705(木村)	03-5249-5787(永井)	03-3909-2263(田中)



大槌町役場跡 (平成23年5月23日撮影)

3 今後の日常生活について

福島第一原発の事故は、今後、皆さんの生活にどのような影響があるのでしょうか。

①放射線について

人は、地面や大気中また、宇宙から日常的に放射線を浴びています。年間に浴びる放射線許容限度は、原子炉規制法と放射線障害防止法では年間1ミリシーベルト (mSv) となっています。現在、この数値を超えている地域は、福島第一原発付近であり、都内では基準値以下又は不検出となっています。

放射性ヨウ素や放射性セシウムは、原発事故で放出されやすい物質とされています。福島第一原発付近では、事故で飛散した放射性物質はもう大気中にはほとんどありませんが、各自治体では濃度を測定しておりますので、ホームページ等でご確認ください。

②電力について

これから秋にかけては電力需要が低下するため、一段落ですが、冬に向けては暖房等再び電力需要が高まるため、再び節電の意識を持って生活することが重要です。

4 北区の対応について

地震発生後、北区では以下の取り組みを行ってきました。



義援金の取りまとめ

多くの方から寄せられた義援金を取りまとめ、日本赤十字社・共同募金会へ送付しました。



救援物資の搬送

被災地へクラッカー、アルファ米、飲料水、毛布などの救援物資を搬送しました。



被災地への職員派遣

東京都や特別区と連携して、岩手県釜石市、宮城県仙台市・気仙沼市、福島県広野町へ職員を派遣し、職種に応じて避難所における運営支援や、健康相談、家屋調査、災害廃棄物の収集・運搬を行いました。



清掃車の寄贈

子育て情報

1 保育園について

保育園 (保育所) は、働いていたり、病気などのため、家庭でお子さんの保育ができないときに、保護者に代わってお子さんを保育する施設です。保育園によりお預かりで

きる年齢や人数、時間が異なります。保育課入園相談係にお問い合わせください。



▶ 保育課入園相談係

☎ 3908-9129

2 幼稚園について

幼稚園は保育園とは異なり、保護者の方の就労状況などには関係なく入園できます。私立幼稚園の場合、就園年を満たし、集団生活が可能なお子さんであって、各幼稚園の

選考に合格することが必要です。詳細は子育て支援課次世代育成係にお問い合わせください。



▶ 子育て支援課次世代育成係

☎ 3908-8143

公立幼稚園は、北区にお住まいの方を対象に、4歳児からの入園となります。詳細は、学校支援課学校支援係に

お問い合わせください。

▶ 学校支援課学校支援係

☎ 3908-9293

3 学童クラブについて

学童クラブは、放課後帰宅しても保護者の方が就労等のため留守になる家庭、または疾病等により昼間家庭で適切な保護が出来ない家庭の児童が、夕方まで遊びとともに生活をする場です。

・学校休校日は午前8時45分 (※一部は午前8時15分) から午後6時 (※一部は午後7時) まで
利用料金は、月額5,000円です。ただし、所得に応じて減免制度があります。また、利用料金の外におやつ代月額1,500円が必要です。詳細は、子育て支援課次世代育成係へお問い合わせください。

対象となる児童は、区内の小学校に在籍する児童または区内に居住し区外の小学校に在籍する小学校1年生から3年生までの児童が対象です。

休みは、土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始。ただし、一部学童クラブは土曜日にも運営しています。

・育成時間は、学校開校日は放課後から午後6時 (※一部は午後7時) まで

▶ 子育て支援課次世代育成係

☎ 3908-9097

子育て体験記

キム・ジョンスク (29歳/主婦/国籍:韓国)

私は今年で2歳になった男の子のいる主婦です。夫は現在、大学院で勉強をしている学生なので忙しい毎日を過ごしています。日本語が流暢な夫に比べ、日本語を学



んだことがない私にとって日本の生活はなじみないものでした。スーパーに行くことや、育児などの日常生活が、なれない言葉と文化の中で、私には不安と心配の毎日でした。一番の心配は、子育てでした。保育園を申し

込んでみましたが簡単には入れませんでした。そんなある日、公園で偶然に知り合った日本のママ友に「児童館」を紹介してもらいました。韓国には「児童館」という所がないので、はじめは「児童館」という単語すら知りませんでした。

最初に行った「児童館」は天国のようでした。数多いおもちゃと広いスペース、何より同い年の友達と自然に遊べることがうれしかったです。今は周りから「児童館マニア」と呼ばれるくらい、よく友達と一緒にほぼ毎日のように児童館を利用しています。子供の誕生日にも児童館でパーティを開いてくれました。妹の家にもよく遊びに行きますが、妹と子供と私3人で児童館にもよく遊びに行っています。